

井尻小学校 校報 井尻の子!



<第2号> 令和2年5月15日発行 (校長 堀江 博生)

子どもたちの元気な声が戻ってきました。

5月11日の朝、校門前に立つと「おはようございます。」と子どもたちの元気な声が遠くから聞こえてきました。4月17日以来、実に24日ぶりの子どもたちの声です。やっと…子どもたちが帰ってきました。

校舎内からは、朝の活動をする子どもたちと先生の声が校長室にも聞こえてきます。朝の歌、健康観察…学校が動き出しているのを感じます。

この日の1時間目、子どもたちの様子を見るために各教室を回りました。計算問題を解いたり漢字ドリルに書き込んだり、みんな

一生懸命に自分の課題に取り組み、休み時間には、青空のもと思い思いに体を動かしています。校庭に活動する子どもたちの姿が見られる…そんな日常のありがたさを痛感した一日でした。

5月12日、たまたま地域の方とお話をする機会がありました(お孫さんが井尻小学校在籍)。『昨日久しぶりに学校があっただろう?と尋ねると「おもしろかったあ〜。」とすぐに答えが

帰ってきましたねえ。』と声をかけていただきました。何よりもうれしい一言です。子どもたち一人一人が「おもしろかったあ。」と言える活動をこれからもめざしていきたいと思ひます。

地域のみなさまの力に感謝いたします。

井尻小学校に赴任した当初から校庭に草が生えていないことに驚いていましたが、5月7日に出勤するとさらに校庭がきれいに整地されていました。聞けば毎年 PTA の役員の方が時間をかけて整地していただいているとのこと。今回も、5月6日、時間をかけて整地していただきました。取りづらいサッカーゴール周りは、鍬でとっていただきました。

少し前になりますが、4月19日(日)には代表の方に音頭をとっていただき、「稲作の会」の方に水田の周りの草を刈っていただきました。当日はたくさんの方にきていただき、笹や草



でおおわれていた水田周りが短時間であっという間にきれいになりました。

道路向かいの畑に目をやると、現在ジャガイモが育てられています。畑を耕していただくだけではなく、肥やしの散布さらには畝づくりと大変お世話になりました。

全ては紹介できませんが、校地内の草を刈っていただいている方、毎朝子どもたちの登校と一緒に歩いて見守っていただいている方、読み語りをしていただく方、…本当にたくさんの地域の方に支えていただいています。



5月14日(木)にも、校庭の一角にある畑から1、2年生のにぎやかな声が聞こえてきました。生活科の学習で行う野菜の苗植えが行われていました。ここでも地域の明朝会の方にお世話になり、畝づくりからマルチ張り、苗の植え方も教えていただきました。話を聞くとキュウリにナスビに、オクラに…とたくさんの種類の野菜

が今回植えられたそうです。これからの成長と収穫が楽しみです。そして、常に地域の方のあたたかさに触れさせていただいていることを本当にうれしく思います。当たり前なことではなく、感謝の思いを新たにするとともに、子どもたちにも自分たちにできることは何だろうと思いをめぐらせ実行してほしいと思います。



5月18日(月)から通常時程の生活へ

今週のところで新たな感染者が出なかったこと等を踏まえ、5月18日(月)からは通常時程での学校生活に戻します。今週1週間は、子どもたちを通常的生活リズムに戻すことを大切にしてきました。昼休みもいつもと同じように時間を設定し、中休みマラソンもいつもと同じように行いました。

子どもたちは、朝、私の姿を見かけると「校長先生、今日の昼休みおにご(鬼ごっこ)しよう。」と声をかけてきます。(約束通りおにごに参加すると、鬼の格好のターゲットでしたが…)子どもたちの声が聞こえ元気に活動する姿が見られる学校は、本当に気持ちの良いものです。いつまでもこの姿が見られ、通常時程での学校生活が続くことを願ってやみません。

忘れてはならないのは、新型コロナウイルスが終息したわけではないということです。今週4校時授業であったとはいえ、久しぶりの学校で疲れた子どもさんもおられることと思ひます。休める時はしっかりと休み、新型コロナウイルスの感染拡大防止に心がけながら、元気な姿を見せてください。

学校でも活動後の手洗い、うがい、消毒を呼び掛けています。また、体育学習以外の生活ではマスクをつけることにしています。子どもたちが感染しないよう引き続きご家庭での感染予防をお願いします。